

図書館だより



武雄高等学校 図書指導部
令和2年2月21日発行

2月になり、梅の花が咲き始めてきました❀3年生のみなさんは、二次試験ではベストを尽くしてきてください！(^^)／図書館から応援しています(*^^*)



◇大学入試出典コーナー 作品紹介◇

『寝ながら学べる構造主義』

内田 樹【著】

☆九州大学 2012 年前期
(法・経済・教育学部)で出題！



” なーんだ、そんなことだったのか！”

フーコー、バルト、ラカン、レヴィニストロースと聞いて、難しそうと尻込みするのは無用。本書を一読すれば「そうかそうか」の連続です。

『裸足と貝殻』

三木 卓【著】

☆東北大学 2012 年前期
(小説)で出題！



敗戦。死と背中合わせの中国からの引き揚げを経て、小学5年生の豊三少年一家は親戚を頼りに、静岡に落ち着く。崩壊した秩序と価値観の中で、内地の生活は少年にとって何もかもが珍しく、新鮮に感じられた。

『わかりあえないことから～コミュニケーション能力とは何か～』

平田 オリザ【著】

☆北海道大学 2016 年前期
で出題！



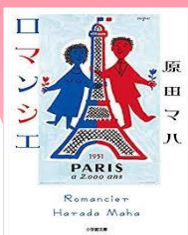
近頃の若者に「コミュニケーション能力がない」というのは、本当なのか。稀代の劇作家がコミュニケーションの本質に迫る。



♥バレンタインデーの季節に読みたい恋愛小説♥

『ロマンシェ』

原田 マハ【著】 (小学館)



恋愛対象が同性の乙女なアーティストの卵・遠城寺美智之輔が、同級生の男性に恋心を秘めたまま、単身パリへ留学。ある日、美智之輔は小説家の羽生光晴という女性と知り合い、光晴が訳あって匿われているリトグラフ工房で、光晴の生活をサポートしつつリトグラフを製作することになるがー。

『君は月夜に光り輝く』

佐野 徹夜【著】 (KADOKAWA)



高校生の岡田卓也のクラスにいる、「発光病」で入院したままの少女、渡良瀬まみず。「発光病」とは、月の光を浴びると体が淡く光り、死期が近づくとその光は強くなる病気らしい。卓也は、余命わずかなまみずに、死ぬまでにしたいことがあると知り、その手伝いをするようになる。

☆続編の『君は月夜に光り輝く～＋Fragments』もどうぞ！



♥♥♥読んでみたいと思ったらぜひ図書館まで♥♥♥



《新着図書案内》

『アリバイ崩し承ります』

大山 誠一郎【著】（実業之日本社）



美谷時計店には「時計修理承ります」とともに「アリバイ崩し承ります」という貼り紙がある。難事件に頭を悩ます新米刑事はアリバイ崩しを依頼する。

☆今月からドラマがスタートしました！

『AIの時代と法』

小塚 莊一郎【著】（岩波書店）



AIの利用が普及し、データの価値が増大する時代には「モノからサービスへ」、「財物からデータへ」、そして「法／契約からコードへ」という変化が生じる。それは法の世界に大きな変革をもたらす、さらに法の考え方の基盤を揺るがすようなインパクトを持つだろう。AIの時代に生じる諸問題を考え、対処する道筋を描き出す。

『荷風追想』

多田 蔵人【編】（岩波書店）



明治・大正・昭和にわたる文豪、永井荷風。近代文学に深い刻印を残した荷風は、時代ごと、また場所ごとに、実に様々な面影を残した人でもある。荷風と遭遇し、遠くから荷風を慕った同時代人の回想59篇を選んだ。

『騙し絵の牙』

塩田 武士【著】（KADOKAWA）



出版大手「薫風社」で、カルチャー誌の編集長を務める速水輝也。笑顔とユーモア、ウィットに富んだ会話で周囲を魅了する男だ。ある夜、上司から廃刊の可能性を匂わされたことを機に組織に翻弄されていく。社内抗争、大物作家の大型連載、企業タイアップ…。飄々とした「笑顔」の裏側で、次第に「別の顔」が浮かび上がり一。

『「孤独な育児」のない社会へ』

榊原 智子【著】（岩波書店）



ワンオペ育児、産後うつ、ほかの子どもと接する機会の少ない今の子どもたち…。家族の形も変わる中、「孤独な育児」が日常化している。保育所やこども園は社会の支えになるのに、育休中の退園ルールや保育所建設反対はなぜ起きるのか。現場を長年取材した著者が各地で直面している課題を明らかにし、今後に向けて提言する。

『面白くて眠れなくなる進化論』

長谷川 英祐【著】

（PHPエディターズ・グループ）



神の御技を見よ一進化論以前、ダーウィンの冒険、遺伝子の正体、カプトエビの危機管理…なぜ、世界はこんなにたくさんの生物に満ちているのか？

3年生のみなさんは、返却を3/1（日曜・卒業式の日）までに必ず完了すること！！